

ブライト情報満載!!

『プレカットの新たな可能性を求めて』～熊谷木材工業(株)

1953年(昭和28年)7月の法人設立以来、55年以上の業歴を有し当地熊谷市では比較的老舗の材木業者である。しかし、老舗ののれんにあぐらをかくことなく、プレカット技術のさらなる向上と可能性を求め、活動を行っている熊谷木材工業(株)に注目した。

当社は秩父市および長野の山林業者が熊谷市進出を目論み設立された経緯から、熊谷市で地道に地盤を築いてきた。1984年にプレカット加工を開始し、その後1996年には金物工法に対応するクレテック加工機を導入。これにより、得意先からの複雑な要求に応えとともに、強度においても評価を得てきた。

しかし、一般住宅の顧客ニーズは年々複雑化しており、これまでと同じことをやっていたのではプレカットの将来はないと判断。2007年10月にはプレカット新工場を稼働させた。この新工場稼働により、これまでの金物工法の精度が向上したことで技術的な精度が高まり、工法の幅も広がった。加えて、大工出身者3名を有する当社は特殊加工、特殊物件も多く手がけており、毎年神社や寺院向けの木材加工も定期的に受注しているなど、設備面、技術面の評価の高さもうかがわれる。

また、技術的な向上だけに留まらず、新工場開設以降は毎年6月に「クマモク祭」を開催し、得意先である工務店筋や施主を招き工場の見学会や展示会を行っている。これは「施主様に自分の家で使われる木材がどのように作られているかを見ていただきたいかった」ことがきっかけと語る飯塚社長。こうした新たな試みもスタートさせている。

今後については、住宅における大きなテーマでもある耐震問題に取り組んでおり、トステムのスーパーストロング構造体の加盟プレカット工場に認定され(関東で8社、埼玉県で1社)、耐震に対するグレードの高い材木を供給することで、プレカット業者としてさらなる高みを目指していきたいとしている。

企業コード：270037502
所在地：熊谷市三ヶ尻4268
代表者：飯塚 秀司氏
年 商：7億1500万円
(2008年5月期)



2007年10月完成の新プレカット工場